

別府大学附属図書館の組織変遷ほか

佐藤サチ

別府大学創立100周年にあたり、附属図書館の歴史を調べることになりました。

最初に手をつけた附属図書館の組織の変遷を報告します。これは「大分県教職員録」によりました。

年度	館長	参与等	事務長	他の職員	職員数	備考
《学校法人別府大学》						
H19 2007	佐藤允昭		古岡義信	課長補佐(1)+3	5(4)	
H18 2006	佐藤允昭		古岡義信	課長補佐(1)+3	5(4.5)	
H17 2005	佐藤允昭		古岡義信	参与(1)課長補佐(1)+2	5(4.5)	
H16 2004	佐藤允昭		古岡義信	参与(1)参事(1)+2	5(4.5)	
H15 2003	佐藤允昭		古岡義信	参与(2)参事(1)	4	
H14 2002	佐藤允昭		糸永俊一郎	大学短大非常勤講師(兼)(1) 参事(1)課長補佐(2)	4.5	
H13 2001	井上富江	佐藤允昭	糸永俊一郎	大学短大非常勤講師(兼)(1) 参事・大学短大非常勤講師(兼)(1) 参事(1)課長補佐(2)	5	佐藤氏：参与(兼)
H12 2000	井上富江	佐藤允昭	糸永俊一郎	大学短大非常勤講師(兼)(1) 参事・大学短大非常勤講師(兼)(1) 参事(1)課長補佐(2)	5	
H11 1999	井上富江	佐藤允昭	堀藤一	大学短大非常勤講師(兼)(1) 参事・大学短大非常勤講師(兼)(1) 参事(2)課長補佐(2)	6	堀氏：事務部長
H10 1998	井上富江	佐藤允昭	岡田茂	大学非常勤講師(兼)(1) 事務参事・大学非常勤講師(兼)(1) 参事(3)	4.5	佐藤氏：事務参与(兼) 岡田氏：事務部長・大学短大非常勤講師
H 9 1997	倉田弘文 井上富江 (館長代行)	佐藤允昭	岡田茂	大学短大非常勤講師(1) 事務参与(1)事務(1) 事務参事・大学短大非常勤講師(1)+1	4.5	

《学校法人佐藤学園》							
H 8	1996	倉田紘文	佐藤允昭	岡田茂	大学非常勤講師(1) 事務参与(1) 参事(1) 大学事務参事・短大非常勤講師(1)+1 事務参与(1) 事務参与・短大非常勤講師(1)+1 事務参与(1)+2	4.5 3 3.5 3.5 3.5 4.5 4.5 5.5 6.5 7 7 7 7 7 7 7 8 8	岡田氏：事務部長・短大 非常勤講師 佐藤氏：事務部長(兼)
H 7	1995	倉田紘文	佐藤允昭	岡田茂	3	3	
H 6	1994	倉田紘文	佐藤允昭	岡田茂	事務課長(1)+2	3.5	
H 5	1993	倉田紘文		佐藤允昭	事務課長(1)+2	3.5	
H 4	1992	倉田紘文		佐藤允昭	事務課長(1)+3	4.5	
H 3	1991	岸野晋一		佐藤允昭	事務課長(4)	4.5	
H 2	1990	岸野晋一		佐藤允昭	事務課長(1) 司書(4)	5.5	
H 1	1989	岸野晋一		佐藤允昭	事務課長(1) 司書(5)	6.5	
S63	1988	林章		佐藤允昭	司書(6)	7	佐藤氏：事務長
S62	1987	林章		佐藤允昭	司書(6)	7	
S61	1986	林章		佐藤允昭	司書(6)	7	
S60	1985	林章		佐藤允昭	司書(6)	7	
S59	1984	林章		佐藤允昭	司書(6)	7	
S58	1983	林章		佐藤允昭	司書(6)	7	
S57	1982	安部益巳		佐藤允昭	6	7	
S56	1981	林章		佐藤允昭	参事(2) 司書(4)+1	8	
S55	1980	林章	加藤一英 安部益巳	佐藤允昭	司書(4)+3	8	加藤、安部両氏職名不明
S54	1979	林章	安部益巳	佐藤允昭	司書(4)	5	阿部氏：副館長
S53	1978	林章		佐藤允昭	司書(4)	5	
《別府大学》							
S52	1977	賀来軍次郎		佐藤允昭	司書(4)	5	
S51	1976	賀来軍次郎		佐藤允昭	司書(3)	4	
S50	1975	賀来軍次郎		加藤一英	司書(3)	4	
S49	1974	賀来軍次郎		加藤一英	司書(3)	4	
S48	1973	賀来軍次郎		加藤一英	司書(2) 司書(兼)(1)+1	4.5	
S47	1972	賀来軍次郎		梅木幸吉	司書(1)+2	4	
S46	1971	大友芳雄		加藤一英	司書(2)+1	4	
S45	1970	松本義一		賀来軍次郎	司書(3)+1	5	
S44	1969	松本義一		賀来軍次郎	4	5	

S43	1968	松本義一			賀来軍次郎	3		4	
S42	1967	松本義一			賀来軍次郎	8		9	
S41	1966	大友芳雄	山田泰治		清水了	司書(1)司書補(1)		3	山田氏：補佐
S40	1965	大友芳雄	山田泰治		清水了	司書(1)司書補(1)		3	
S39	1954	大友芳雄			山田泰治	司書(1)司書補(1)		3	
S38	1963	川島つゆ			山田泰治	司書(1)司書補(1)		3	
S37	1962	(別府大学の記述なし)							
S36	1961	(同上)							
S35	1960	(同上)							
S34	1959	(同上)							
S33	1958	(同上)							
S32	1957	(資料未確認)							
S31	1956	(図書館の記述なし)							
S30	1955	(同上)							
S29	1954	(別府大学の記述なし)							
《別府女子大学》									
S28	1953	(図書館の記述なし 事務職員：7名)							
S27	1952	(資料未確認)							
S26	1951	津田剛				司書(1)		1	
S25	1950	(資料未確認)							
S24	1949	(同上)							
《別府女子専門学校》									
S23	1948	(図書館の記述なし)							

「大分県教職員録」は県立図書館で見ましたが、古い時期に欠本があり全部は確認できず残念でした。

また、記載内容はミスと思われるものもそのまま転記しました。

「他の職員」は氏名を挙げず職名のみとしました。職名の無い場合は、人数のみの表示としました。職員数は、実働と考えて事務長以下とし、兼務は0.5として数えました。

また、日常業務に埋没してしまうのでなく少しは視野を広げようと思ひ、当館を客観視するために統計上の比較をしてみました。

対象としたのは、九州内の奉仕対象学生数が似通っている私立大学と、県内の私立大学です。これは「日本の図書館 2006」によりました。内容は 2005 年度の実績です。

図書館名	学生数	職員数	蔵書冊数 (千冊)	年間購入冊数	個人貸出冊数 (千点)	資料費決算額 (千円)	図書費決算額 (千円)	相互協力業務			
								図書貸借		文献複写	
								貸出	借受	提供	取寄
別府大学	3,816	5	260	4,159	14	48,012	23,949	40	84	489	1,255
九州国際大学	3,287	5	416	5,403	9	58,034	39,458	22	49	319	328
中村学園大学	3,854	5	205	4,727	42	48,101	16,842	4	25	146	1,071
崇城大学	3,749	8	168	4,077	15	10,438	5,112	29	22	161	651
日本文理大学	2,449	3	270	2,973	7	31,375	6,988	0	4	6	71
立命館 APU	4,829	1	85	8,265	53	100,129	60,155	89	34	93	199

経年変化を見るため「日本の図書館」の 2005 から 2001 まで当館の統計をさかのぼってみました。

2005	2,836	5	252	5,015	29	84,041	34,002	18	95	195	711
2004	2,823	5	244	4,824	15	45,024	25,987	3	31	39	232
2003	2,737	4	232	3,972	16	65,422	25,587	7	47	37	200
2002	3,654	5	222	10,303	15.6	77,669	57,149	4	46	37	374
2001	3,394	5	205	4,667	14.9	56,083	27,998	1	24	51	333

今年度は他館見学の機会がないと思つていましたら、1 月末になって私的旅行ですが九州大学の伊都キャンパスに新設された「九州大学理系図書館」を見ることができました。

また工学部だけの移転のため、環境はあまり整っていませんが、「理系図書館」が独立棟でできています。現在は地下 1 階地上 1 階ですが、将来は地上 3 階になるそうです。地下 1 階の大部分は自動書庫です。起伏のある土地なので地下 1 階といっても大学構内入り口方面からは 1 階に見えます。

図書館入り口の掲示に（あとでいただいたリーフレットにも）日曜日は休館とありましたが、2 枚のガラス越しに遠くの閲覧机に利用者らしき人が座つているのが見え、ガラス戸を押してみました。じつは学内の建物は施設されていて教職員証・学生証のカードがないと入れないと聞いていたのです。図書

館に着くまでに2, 3 ドアを押したのですが、生協以外は入れませんでした。さて、図書館のドアはあきました。ロビーがあって、その先のゲートのそばのインタフォンで名乗りゲートを開けてもらいました。カウンターにいた人は学生アルバイトで、土日には正規職員ははずバイト2名だそうです。「できることだけですけど」と言っていました。

将来、これの2倍くらいの「中央（文系）図書館」もできるのですが、今見るだけでも彼我の違いは比べようもなく、国立大学というか旧帝大系というか、基盤の違いを感じさせられました。手近な感想としては、書架の空き具合がうらやましい！

アボなしで伺ったので自分で見てまわるだけになりました。同行者に以前見学した人がいたのですが、その人の話によると、自動書庫を見せてもらったそうです。そして「先生たちにはあまり評判がよくありません」ときいたそうです。

前日、福岡市立美術館に行きました。何度も行ったところですが今回は時間的にゆとりがあったせいかわ、附属の読書室があるのに気づきました。そこにはカードケースが置かれていました。現在も使われているようでした。とてもなつかしい風景でした。

(さとう さち 別府大学附属図書館)